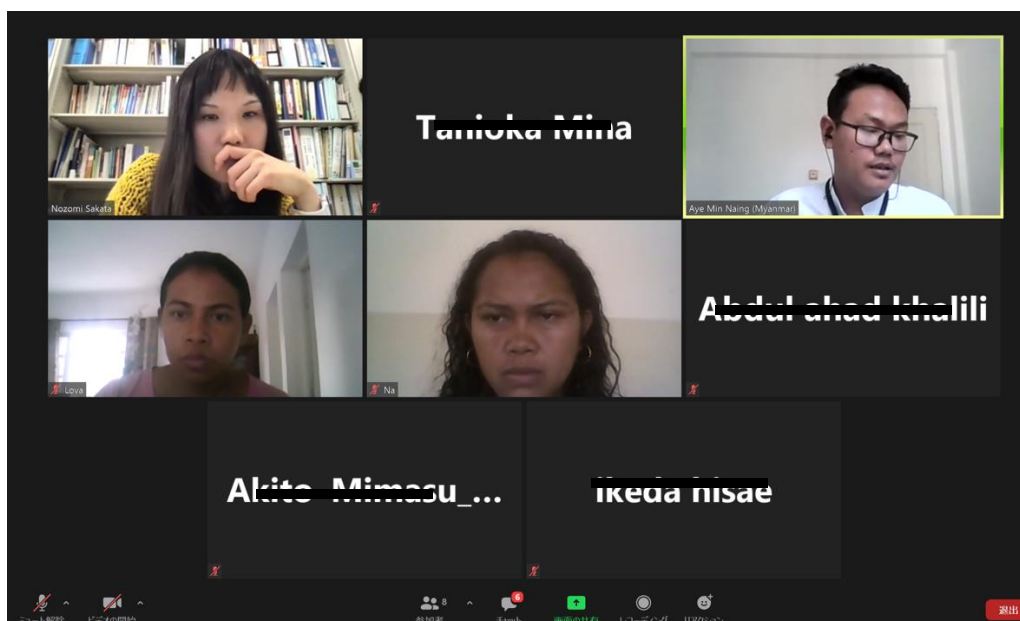


1月20日（水）

リフレクションが行われました。そこでは、日本の経済的背景について、資源不足であるにもかかわらず、日本がなぜ経済的に豊かな状態であるのかを中心に、教育との関わりを考えながら議論を行いました。

事前に配布された資料と研修員の自国の経済状況と比較しながら論点について議論を交わしました。「研修員の自国では米や木材のような原材料を多く産出することができる一方で、それらは日本とあまり異なる状況があるにもかかわらず、自国と日本の経済的な違いが何故あるのか」、「日本は資源に乏しい分、資源を他国から輸入しながら、技術力で電化製品などを生み出すことで、豊かな経済状況を生み出している」ことなどを議論の中で確認しました。

また、その技術力の裏側には、日本の識字率や職業技術訓練といった教育の豊かさが関わっているのではないかという意見が出ました。それに加えて日本人特有のものづくりに対する高いモチベーションが関わっているのではないかという意見もでていました。さらに、食料自給率についても問題視する発言も出ており、日本の経済的状況の背景についても、批判的に議論を交わしていました。



時差があり、かつオンライン研修特有のインターネットの接続障害も時折みられ、研修員がうまく参加できない状況もありましたが、司会の研修員が積極的に論点に沿って議論を行いながら、全員が各自の考えを述べていました。事前に配信された資料を各自が学習し理解を深め、研修員各国の状況と比較しながら、全体で意見共有できた研修日となりました。